

各位

2018年2月21日

昭和シェル石油株式会社

「健康経営優良法人 2018 ～ホワイト 500～」に認定

～従業員の健康増進は重要な経営課題と位置づけ、戦略的に取り組んだことが評価～

昭和シェル石油株式会社(東京都港区台場 2-3-2、亀岡 剛代表取締役社長 グループ CEO)は、2018年2月20日、経済産業省と日本健康会議*が共同で実施する「健康経営優良法人 2018 ～ホワイト 500～」に認定されました。



「健康経営優良法人 2018 ～ホワイト 500～」とは、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人を認定する制度です。今年、特に優良な健康経営を実践している企業として、当社を含む 541 法人が認定を受けました。

当社では、従業員の健康増進は企業の持続的成長に不可欠な項目であると認識し、定期健康診断に法定外項目と癌検診を追加し、早期治療や生活改善を個別に促すなど、健康意識を高める活動をこれまでも積極的に行っています。

今回の「健康経営優良法人 2018」の認定は、当社のこのような「健康経営」の取り組みが評価されたものと考えています。

昭和シェル石油の「健康経営」の取り組み

- 定期健診診断の 100%受診を継続し、受診・精密検査・経過観察者健診など社員の状態に応じた支援を行っている。
- 従来からの研修や健康ニュースの定期配信・社内保健師による社員との健康面談などに加えて、メンタルヘルス研修会や健康保険組合と協働での運動奨励プログラムを開催するなど、1次予防にも力を入れてきた。
- メンタルヘルス面においては、ストレスチェックの実施や高ストレス者へのアプローチ/フォロー、長時間労働者に対する健康面談等の施策により、メンタル不調の未然防止を行っている。休職者が復職した後においても、本人および上司とそれぞれ面談を行い、継続的に再発防止に取り組んでいる。

「健康経営優良法人 2018 ～ホワイト 500～」とは

2017 年より開始された健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。

経済産業省 HP 「健康経営優良法人認定制度」

http://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/healthcare/kenkoukeiei_yuryouhouzin.html

「日本健康会議」とは

少子高齢化が急速に進展する日本において、国民一人ひとりの健康寿命延伸と適正な医療について、民間組織が連携し行政の全面的な支援のもと実効的な活動を行うために組織された活動体です。

本件に関するお問い合わせ先
昭和シェル石油株式会社 広報部 大津
03-5531-5793